

★ 仙台市天文ボランティア会報 ★

星空 ◎: 好天 △: 僅かに観望 ×: 不可

実施日	観望会実施場所	参加人数	開始時刻	終了時刻	星空	スタッフ	天候	主な内容
■ 3.21(土)	総会(25年度)	—	15:00	17:00	—	8名	—	25年度の纏めと26年度の進め方(会則修正)終了後懇親会
■ 4.18(土)	例会(第1回)	—	14:00	16:00	—	8名	—	5月えぼし観望会のスタッフと、保管物品の処分、近況報告
☆ 5.5(火)	えぼしリゾート	35名	20:15	21:00	◎	2名	晴	2日間中止の後、初の実施となった観望会。とても寒かった。
■ 5.16(土)	例会(第2回)	—	14:00	16:00	—	9名	—	えぼし観望会報告と大衡予定、研修、雑誌りらくの撮影/取材
■ 6.20(土)	例会(第3回)	—	14:00	16:20	—	9名	—	梅雨に入った日の例会、天文台は混雑、ケプラーの法則等
■ 7.3(金)	岩切小学校	26名	13:30	14:30	—	3名	—	「杜々かんきょうレスキュー隊」プログラムとしての出前講座
■ 7.18(土)	例会(第4回)	—	14:00	16:00	—	7名	—	りらく発行、みやぎNPO情報ネット登録、8月蔵王観望会決め
☆ 8.10(月)	えぼしリゾート	3名	20:15	20:45	×	2名	雨	曇天とキリの中、ゴンドラとプロジェクターだけで星のお話し
☆ 8.11(火)	メルキュール宮城蔵王	25名	20:00	21:00	×	2名	雨	連日の雨で、えぼしは中止、ホテルも室内だけで実施
☆ 8.12(水)	メルキュール宮城蔵王	45名	20:00	21:00	×	2名	雨	ホテルの呼びかけで参加は多かった曇天バージョン
☆ 8.14(金)	メルキュール宮城蔵王	39名	20:00	21:00	×	2名	雨	最終日も雨、災害が発生するほどの荒天
■ 8.15(土)	例会(第5回)	—	14:00	15:30	—	5名	—	9月観望会の予定未定、月の研修、ホームページ費用改定
☆ 8.19(水)	高砂中央公園	20名	18:00	19:00	×	4名	曇	まったく星が見えず、クイズを楽しんでもらった屋内観望会
● 8.28(金)	泉が丘小学校	34名	10:50	12:10	△	3名	晴	「せんだい環境学習講座」プログラムとして、特別授業実施
★ 9.5(土)	蒲町児童館	61名	19:00	20:00	△	4名	曇	雲の隙間から見える星を探して見せた観望会
■ 9.19(土)	例会(第6回)	—	14:00	15:50	—	7名	—	10月の観望会の予定と12月例会、忘年会の検討
★ 9.22(日)	えぼしリゾート	17名	20:15	21:15	◎	2名	晴	最強。快晴、最高の星を見れた観望会

★ えぼしリゾート・観望会 【2026年5月5日(火)・報告: 西口】

シーズン最初で、ゴンドラは19時半に動き始めましたが、お客さんは展望台の方に行ったのか、しばらくおきてきませんでした。金星が明るく輝いていたのに、まもなく沈んでしまいました。20時近くになって集まり始め、写真を選んでもらい、20:15にスタート。あいさつ、自己紹介の後、今日の星空、スライドでポイントのみお話しして、外でポインターを使いながら実際の星空で解説。春の大曲線、からす座、北斗七星(スマホで撮影した方、ばっちり写っていました)、しし座。雲一つなく晴れていて月明かりもなかったので、プレセペやかみのけ座も肉眼で見られました。かみのけ座は最初にお客さんが見つけました。すごい！望遠鏡では木星(衛星も2つ)とプレセペを見てもらいました。寒さのため、ほとんどの方が途中で帰られ、終了時には残っていた方は2組のみ。寒さ対策をしっかりとっていた方々でした。

☆ 岩切小学校・観望会 【2026年7月3日(金)・報告: 西口】

「杜々かんきょうレスキュー隊」プログラムとしての出前講座。総合の時間に宇宙について調べて発表した子もいたとのことで、とても興味を持ってくれているようでした。準備段階から寄ってきて、手伝いを申し出てくれる子もいました。あいさつ、夏の星座(光害も含む)、七夕ものがたりの後、外に出て望遠鏡で遠くの「止まれ」標識などを全員に見てもらいました。「うわー、大きい」「どこにあるの?」「あっちの望遠鏡は普通に見えたけど、こっちは逆さまだ」などいろんな感想がありました。室内に戻り、天文クイズ。ちょうど下校時刻になった下の学年はここで終了でしたが、上の学年は最後に質問コーナー。ダークマターって? とか冥王星のハート型についてなど鋭い質問が出ていました。

☆ えぼしリゾート・観望会 【2026年8月10日(月)・報告: 西口】

夏の初日でしたが、天気が思わしくなく、石子ゲレンデのライブカメラは真っ白。受付でお客さんはキャンセルされる方がほとんどでした。20時少し前にゴンドラで昇り準備を始めました。パソコンの用意をしているうちに親子1組が到着されて、記念の写真を選びながら土星の話を。あいさつ後、「夏の星空」「はくちょう座vsさそり座」をスライドで説明しました。最後に「アンタレスの方が大きいのに、デネブの方が明るい(絶対等級)のはなぜ?」という質問がありました。夜景も全く見えず、小雨も降り出したので早めに切り上げました。上は長袖を着ていてちょうどいいくらいの気温でした。外での観望には上着が必要です。熊スプレーも配備され一緒に入れています。

☆ メルキュール宮城蔵王・観望会【2026年8月11日(火)・報告: 西口】

館内放送で呼びかけてもらい、お客さんが少しずつ集まりました。写真を選んでもらってからスタート。「今月の星空」では、今日見えるはずだった星のお話をしました。「宇宙のスケール」は、10cmの円を地球や太陽、天の川銀河などに見立てて宇宙の広さを感じてもらいました。最後の質問コーナーは、初めは手があがらなかったのですが雑談しながら進めました。・家の望遠鏡でも土星は見えますか? ・流れ星は、本当の星が流れている? ・星が2つに見えることがあるのはなぜ? などが出ました。お開きになった後、残っていた男の子は、宇宙人はいるの? とか、月面Xの写真をしながら、どうして月が半分しか見えないの、などとたくさん質問していました。いろんな知識をいっぱい吸収して、大きくなってね。将来が楽しみな男の子でした。

☆ メルキュール宮城蔵王・観望会【2026年8月12日(水)・報告: 大石】

あいにくの雨、霽も出て来ている天候で、室内での開催になりました。8時ぐらいから、続々と参加者が来られて、記念の写真を選んでいただき席についてもらいました。初めに、今日の星空 を行いました。その中で、今日の夜半から朝方にかけてペルセウス流星群のピークでした とお話をしました。毎年この時期にあるので、来年に期待してくださいね、と紹介。次に、地球、月、太陽の大きさや距離について、宇宙の大きさ、等のお話をしました。質問コーナーでは、お子さんからの質問が多くありました。○太陽の温度は? ○流星はどんな物なの? などなど。ほぼ、9時なりましたので、終了しましたが、神奈川の方は、天の川を見るのが楽しみに来られたようで残念がっていました。

☆シ 観望会のようす ― 令和8年 ―

☆ メルキュール宮城蔵王・観望会【2026年8月14日(金) 報告:植村】

最終日を迎えた今晚のメルキュール。残念ながらお天気に恵まれず、室内でのお話となりました。

例によって会場に来られた方には参加賞の写真をえらんでいただき、また、So-Ten-Kenをお渡ししました。

そして初めに「今日の星空」の説明を行いました。ペルセウス座流星群の話題になると、実際の星空が見えないのを残念がっておられました。次のコーナーでは、クイズも交えながらISSについての解説がありました。宇宙で組み立てるISSの資材の運搬、打ち上げるロケットや、様々な国の協力、任務を終えた宇宙飛行士の地球への戻り方、ISSでの生活など面白い話に皆さん興味津々で耳を傾けていました。また、質問コーナーでも、ISSがらみの質問が多数ありました。

☆ 高砂中央公園・観望会【2026年8月19日(水)・報告:西口】

雲ひとつない星空という言い方がありますが、この日は「星ひとつない曇り空」。秋雨前線＋台風接近ですやむなしです。うみの杜水族館が夜のイベントをしていて、公園にも親子連れが結構いました。担当の方がハンドマイクで呼びかけてくれて人が集まりました。最初に写真を選んでもらい、あいさつの後スタート。

・今日の星空について

・星座物語「くさりにつながれたお姫様」ちょうど後ろにくじら座の装飾があり、お化けくじらのお話ができました

・天文クイズ5才の男の子にお願いされて、ヒント出しまくりました。

・望遠鏡の倍率についてのあと、望遠鏡体験 装飾の星座をのぞいてもらいました。

・質問コーナー天の川が仙台で見られる場所は？ 月の大きさが変わるのなぜ？ という大人の方からの質問でした。

うみの杜に隣接する公園ということで、就学前のお子さんが多かったですね。遊び疲れ＋空腹にもかかわらず、よく話を聞いてもらえました。季節ごとに入れ替えるという星座の装飾も素晴らしかったです。

● 泉ヶ丘小学校・「せんだい環境学習講座」【2026年8月28日(月)・報告:西口】

会場は図書室で、すぐ外の校庭の端に望遠鏡を設置。1台は太陽観測用、2台は景色用です。

あいさつの後、夏の星空は、さそり対はくちょうの対決をしましたが、星座の美しさについては、ややはくちょう座に挙げた方が多かったです。続いて太陽の話は地球との大きさ比べや、密度などについて歓声が上がりました。

そして太陽は白い！ことも分かってもらえたかな。この後、外で望遠鏡体験。少し雲が出てきましたが、何とか無事に太陽黒点も見ることができました。かまぼこ店の看板も望遠鏡によって正立だったり倒立だったり、見え方が違うことも不思議そうでした。室内に戻り、ISSの話。宇宙ステーションでの過ごし方の話で盛り上がりしました。

最後に質問タイムがあり、「宇宙に終わりはあるの」「なぜ宇宙に行くの」「地球に終わりはあるの」などが出ました。

★ 蒲町児童館・観望会【2026年9月5日(土) 報告:西口】

予報ではあまり良くなかったのですが、準備中には西空に欠けた金星を見ることができました。その後雲に隠れてしまい、参加者の方には見せられませんでした。残念！室内で天体写真を選んでもらい、予定を少し過ぎてスタートしました。あいさつ、今月の星空の後に外に出ました。雲が多かったものの、空いているところからちらちらと見えたアンタレス、アークトゥルス、アルビレオなどを臨機応変に望遠鏡でのぞいてもらいました。「星の色の違いは温度の違い」だということを知っている子もいました。天頂の夏の大三角は、1～2個ずつ時々見える程度でした。ここに天の川があるはず、と伝えると「見たことがあります！」というご家族もいました。

室内に戻って質問コーナーを実施。興味のある子が多かったのか、すぐに手が挙がり盛り上がりしました。

** 天文夜話 **

6月の例会で、新聞の月齢について小数点で表記されているが、基準をいつとするのか問い合わせがあった話が話題に。カレンダーに記載されている月例は、昼12時の月例で、天文手帳など夜間の月を対象とする場合は、夜(観望時間帯)で表す。新聞に記載される月齢は、明日の月齢となっており、時間までは書かれていない。河北新報や、朝日新聞の月齢は同じ記載でした。国立天文台の今日の星空(暦計算室)のサイトでは現在の月齢が判るので、それで調べたところ、昼12時でした。天文手帳の記載が異なっていることが話題となり、なぜだろうとなったが、天体観測は夜に行うためその時間帯における月齢を為夜を基準として月齢が記載されているようでした。現時点の月齢を知りたい時は、国立天文台の「今日の星空」で確認するのが早いようです。

◆ 編集後記 ◆ 5月から中止続きの幕開け

・5月3日(日)のえぼしは、催行人数不足で残念ながら中止の連絡がありました。明日あさっても天気が微妙です。

・5月4日(月)今日も催行人員不足で中止になりました。晴れる予報がありましたが申込が少なく残念です。

・去年の悪循環を引きずったように、今年のえぼしは中止が続き、初日がむかえられない春のスタートでした。何とか5月5日に1回だけ実施会報も半年以上遅れやっと発行できました。

5月の例会は、地元雑誌りらくの取材が入り、総勢12名で設立経緯の質問を受けて、思い出話に花が咲きました。観望会で県内を飛び回ったこと、市民広場での星空ライブ、県外への合宿など養成講座修了者の勧誘を含めて、多くの活動をしていた大所帯の頃を振り返り懐かしく思い出することが出来ました(辺)